

総務企画

| | | | | | | | | | |
|----|-----|----|------|----|----|----|----|----|----|
| 委員 | 委員長 | 委員 | 副委員長 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 |
| 新田 | 二木 | 東 | 南 | 梅 | 円 | 橋 | 灰 | 田 | 昌 |
| 寛 | 攻 | 浩 | 陽 | 利 | 仁 | 米 | 田 | 典 | 典 |
| 之 | 之 | 一 | 一 | 和 | 志 | 子 | 田 | 典 | 典 |

■議案第28号 工事請負契約について

矢田野小学校について、屋上防水や外壁塗装、各教室の内部改修等校舎全面の改修工事を実施するものです。

子供たちが2学期から通常通り学校生活を始められるよう、安全面や騒音等の影響を考慮し、工事を進めるよう求めました。

■議案第34号 市長の退職手当の特例に関する条例について

現市長の現任期に係る退職手当について、支給しないこととする特例措置の条例を制定するものです。退職金の額をゼロとすることで施策の実現に向けて財源の一部とすること、また、それに対する覚悟を示すために提案するものです。

退職手当は任期満了後なので、任期後半の条例提出でもいいのではないかとといった意見や、現市長に限つての条例であり、市長の考えを尊重すべきではないかといった意見がありました。

■令和3年6月実施小松市職員採用候補者試験申込状況について

全職種での採用予定人数は40人程度であり、これに対し申込者は112人、受験者数が100人でありました。しかし看護師が採用予定人数16人に対して7人の申込みであり、近隣病院の採用数拡大等が影響している状況です。

看護師については、秋にも試験を実施する等人員の確保に努めていきたいとのことでした。

■令和2年度市税等の収納状況について

令和2年度の市税の収納率は、現年課税分では98・21%、令和元年度以前に課税された分を表す滞納繰越分では21・09%とのことでした。

納税の利便性向上に努め、平成30年度には過去最高の99・36%と高い収納率に達しましたが、新型コロナウイルスの影響により減少しており、新型コロナウイルス感染症の早期終息に期待するものです。

■議案第43号 工事請負契約について

江指町地内の松東みどり学園隣接地に、令和4年度開園予定のことも園新設にかかる建築工事一式を2億5,740万円で請負契約しようとするものです。

福祉文教

| | | | | | | | | | |
|----|-----|----|------|-----|----|----|----|----|----|
| 委員 | 委員長 | 委員 | 副委員長 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 |
| 杉林 | 竹田 | 木下 | 高野 | 片山 | 宮西 | 表 | 宮西 | 表 | 表 |
| 憲治 | 良平 | 裕介 | 哲郎 | 瞬次郎 | 健吉 | 靖二 | 健吉 | 靖二 | 靖二 |
| 治 | 平 | 介 | 郎 | 郎 | 吉 | 二 | 吉 | 二 | 二 |

■議案第36号 小松市病院事業の設置並びに管理条例の一部を改正する条例について

平成19年1月に南加賀地区唯一の地域がん診療連携拠点病院の指定を受け、今年4月からは血液内科の常勤医師1名の着任により、非常勤の医師と合わせ2名体制になったことから、新たに血液内科を診療科に加えるものです。また、神経内科を脳神経内科に名称変更し、脳・神経の疾患を内科的専門知識と技術をもって診療する診療科であることを分かりやすくするものです。

■避難行動要支援者名簿について

市では災害時の安全確認や避難誘導等を効果的に進めるため、支援が必要な方の避難行動要支援者名簿を備えており、要支援者本人の同意を得て、平常時から民生委員や自主防災組織等の避難支援に関わる方に名簿の情報を提供し、避難訓練や見守り等に活用しているとのことでした。

名簿登録の必要がある対象者8,981人のうち、約5,000人の方は未登録の状態となっています。各町で行う避難訓練は、この避難行動要支援者名簿をもとに訓練をしています。支援が必要な方であっても未登録の状態では、災害時に適切な支援が出来ない恐れがあるため、名簿の登録への呼びかけや活用について配慮を求める意見が出されました。

■新型コロナウイルス感染症への対応について

小松市の新型コロナウイルス接種の接種券については年齢層別の段階に分け6月下旬から順次発送しているとのことでした。

新型コロナウイルスは個々の判断で接種するものであることから、児童、生徒の学校での集団接種は現在のところ実施されないとのことであり、今後の国からの通知により判断をしていくとのことでした。また、ワクチン接種について根拠のないデマや噂があることから、情報を正しく受けられるよう広報を行ってほしいとの意見が出されました。

経済建設

| | |
|------|--------|
| 委員長 | 宮川 吉男 |
| 副委員長 | 岡山 晃宏 |
| 委員 | 吉田 寛治 |
| 委員 | 吉村 範明 |
| 委員 | 吉本 慎太郎 |
| 委員 | 出戸 清克 |
| 委員 | 川崎 順次 |

■議案第41号 小松市高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律施行条例の一部を改正する条例について

令和2年5月の「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の一部を改正する法律」（バリアフリー法）の施行に伴い、本市関連条例を改正するものです。今回の改正で、自転車歩行者専用道路、歩行者専用道路の有効幅員の規定の追加等が変更されます。

■新型コロナウイルス感染症経済対策について

今年度申請受付をしている経済対策である事業継承は、コロナ禍で現経営者から次の後継者に事業継承があるとの想定で開設したのですが、現在まで実績がないので、制度の見直しを検討してはどうかとの意見がありました。

■令和3年度KUTANISM(クタンニズム)の開催について

KUTANISM(クタンニズム)は、伝統工芸「九谷焼」の産地である小松市と能美市が連携し、九谷焼の魅力を発信する事業です。

サイエンスヒルズこまつ等の会場では、国立工芸館キュレーター(博物館専門職員)による特別展等を行い、オンライン上では、秋元雄史氏による九谷焼の魅力を全国配信する等、リアルとオンライン両方で九谷焼の技と魅力を発信します。

九谷焼を世界に発信し、地域ブランド力の向上と、販路拡大に繋げていく取組ですが、一方で、九谷焼が地域住民に日常使いされ、地域に根差していく活動も重要なので、並行しながら、更に、取組を進めてほしいとの意見がありました。

■西町子供歌舞伎の上演について

令和3年5月14日から16日に開催を予定していた「令和3年お旅まつり西町子供歌舞伎」は、新型コロナウイルス感染症拡大による県の緊急事態宣言を受け、延期となっていました。7月17日にこまつ芸術劇場うららでの上演が決定しました。

昨年の中止に引き続き2年越しの上演となるので、子供たちの気持ちを十分に配慮して開催してほしいとの意見がありました。

特別委員会 調査報告

小松基地・空港対策特別委員会

| | |
|------|--------|
| 委員長 | 灰田 昌典 |
| 副委員長 | 梅田 利和 |
| 委員 | 新田 寛之 |
| 委員 | 吉本 慎太郎 |
| 委員 | 片山 瞬次郎 |
| 委員 | 二木 攻 |
| 委員 | 川崎 順次 |

■在日米軍再編に係る訓練移転について

令和3年度の米軍再編に係る訓練移転については、10回程度の実施を目標に計画する予定とのことです。

訓練の実施については、小松市民にとって関心の高い事であることから、今後とも、速やかな情報提供に努めるよう求めました。

■F-35A戦闘機の小松基地への配備について

先般、6月3日に近畿中部防衛局長が本市を訪れ、市長に対しF-35Aの小松基地への配備について申し入れがなされました。

本委員会では急ぎよ、6月25日に市議会代表視察団を結成し、6月28日、29日に三沢市議会、三沢基地に派遣することを決定し、現地調査を行ったほか、周辺協との意見交換会を2度、及び特別委員

会を2度開催し、精力的に調査を行いました。

その結果、本委員会では国防の重要性に鑑み、同一町内を分断する騒音コンターの見直しや昭和59年告示後に建設した住宅の防音工事を認めること等、周辺協の要求がかなうことを条件に今回の配備を受け入れるとの結論に達したものです。

国防は国の専権事項であり、近年我が国を取り巻く国際安全保障環境が一層の厳しさを増していることを踏まえれば、今回のF-35Aの小松基地への配備は国防上、重要な政策決定であることは理解します。

しかし、国防の実質的負担は基地を抱える自治体にかかり、更に基地周辺住民には騒音や飛行の安全への不安を与える等、住民生活に多大な影響を及ぼしています。この現実をしっかりと受け止め、市長に対し周辺協で取りまとめられた要望事項等について、国に早期実現を目指すよう、強く求めました。

本委員会としても小松基地周辺の生活環境及び民生安定整備等については特に十分な配慮を国に求め、「基地との共存共栄・空港周辺のみちづくり」を更に進めていく所存です。

◆6月定例会の議決結果◆

■全会一致で議決された議案

| | 議案名 | 議決結果 |
|----------------|---|------|
| 予算案 (4件) | 第30号 令和3年度小松市介護保険事業特別会計補正予算(第1号) | 可決 |
| | 第31号 令和3年度小松市公債管理特別会計補正予算(第1号) | // |
| | 第32号 令和3年度小松市下水道事業会計補正予算(第1号) | // |
| | 第33号 令和3年度国民健康保険小松市民病院事業会計補正予算(第1号) | // |
| 条例案 (8件) | 第34号 市長の退職手当の特例に関する条例について | // |
| | 第35号 小松市税条例の一部を改正する条例について | // |
| | 第36号 小松市病院事業の設置並びに管理条例の一部を改正する条例について | // |
| | 第37号 小松市学習等供用施設等に関する条例の一部を改正する条例について | // |
| | 第38号 小松市未来教育推進基金条例の一部を改正する条例について | // |
| | 第39号 小松市デジタル通信施設条例の一部を改正する条例について | // |
| | 第40号 小松市手数料条例の一部を改正する条例について | // |
| その他議案 (4件) | 第41号 小松市高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律施行条例の一部を改正する条例について | // |
| | 第28号 工事請負契約について | // |
| | 第42号 専決処分の承認を求めることについて | 承認 |
| | 第43号 工事請負契約について | 可決 |
| 議員提出議案 (1件) | 第44号 固定資産評価員の選任について | 同意 |
| | 第5号 大和堆周辺水域における漁船の安全操業の確保及び外国漁船の違法操業に対する取締りの強化を求める意見書 | 可決 |

■賛否が分かれた議案

○は賛成 ×は反対 退は退席 欠は欠席

| 議案名 | 会派自民 | | | | | | | 自民党こまつ | | | | 無党派 | | | | 議決結果 | | | | | | |
|----------------|------|------|-----|------|------|-------|------|--------|-----|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|-------|------|------|------|
| | 灰田昌典 | 杉林憲治 | 表靖二 | 宮川吉男 | 出戸清克 | 吉本慎太郎 | 梅田利和 | 新田寛之 | 東浩一 | 岡山晃宏 | 竹田良平 | 宮西健吉 | 川崎順次 | 円地仁志 | 二木攻 | | 吉村範明 | 橋本米子 | 片山瞬次郎 | 木下裕介 | 南藤陽一 | 吉田寛治 |
| 予算案 (1件) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | × | × | ○ | × | ○ | × | 修正可決 |
| 議員提出議案 (1件) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |

※高野哲郎議長、南藤陽一副議長は小松市議会運営規約第4条に基づき、会派に所属していません。※高野哲郎議長は、採決には加わりません。

◆7月臨時会の議決結果◆

7月7日に修正可決された議案第29号については7月9日に市長より再議の申し入れがあり、7月15日に臨時会が開かれました。

修正案は採決の結果、2/3の得票数を満たさず否決され、修正前の原案及び議員提出議案第7号の附帯決議は採決の結果、可決されました。

再議とは

地方自治法第176条に基づく手続き。首長は議会が可決した議案に異議があれば、10日以内に審議をやり直す「再議」を求めることができる。再議後、同じ議案を可決する場合は出席議員の3分の2以上の賛成が必要となる。

※臨時会の詳細については次号(9月1日号)でお知らせします。

- ☆議会傍聴
- ☆テレビ小松
- ☆ホームページ(議会生中継、録画配信)

<https://www.city.komatsu.lg.jp/citycouncil/index.html>



9月定例会の日程は、ホームページやお茶の間ガイドでお知らせしますので、ご確認ください。



【問い合わせ】 議会事務局 ☎0761-24-8138

「小松市イメージキャラクター カブッキー」

編集後記

議会だより編集委員会

委員長 東 浩一
副委員長 岡山 晃宏
委員 竹田 良平
吉田 寛治
吉村 範明
吉本 慎太郎



こんにちは、議会だより編集委員長の東 浩一です。
今回、議会だよりは発刊200号を迎えました。昭和48年7月15日第1号が発刊され、50号、100号、150号と、その時々
の市政に係わる議決を、議場での議員と市執行部の議論を編集し、
誌面を通して市民の皆様にお伝えしております。

今も続くコロナ禍は、リモートワーク、テイクアウト、家飲み、
巣籠需要等の言葉を生み、ライフスタイルまでを変えつつありますが、
乗り越えて行きましょう。

議会以外の各委員会でも議論が交わされ、時には、喧嘩諍論な議論や、互いの
立場でエールを送る事等もありますが、小松の未来に向けた思いは同じです。

今後も議会としての情報を載せ、発刊してまいります。 (東 浩一)

創刊号



昭和48年7月15日発行

50号



昭和60年11月15日発行

100号



平成10年2月1日発行

150号



平成21年11月1日発行

不動産鑑定士 澤矢豊伸 TEL0761-21-1122
中小企業診断士 竹内広幸 TEL0761-22-9990
社会保険労務士 谷口勇一 TEL0761-76-5503
税理士 行政書士 杉本昌之 TEL0761-24-3633
弁護士 中西祐一 TEL076-256-5413
弁護士 三輪哲也 TEL0761-43-0848
司法書士 山崎 豊 TEL0761-20-3175
土地家屋調査士 行政書士



◆法律◆多重債務◆税金◆登記
◆年金◆会社設立◆相続 等
のご相談をお気軽に【秘密厳守】
私たちが相談に応じます。

サポートネット 専門家による無料相談会

日時●8月21日(土) ●9月11日(土) ●10月16日(土) 9時~11時30分 会場●小松商工会議所